

# 活動報告書

報告日付:2020年4月15日

事業ID:2018485169

事業名宮崎県宮崎市における第三の  
居場所の運営(3年目)

団体名:(一社)日本プレミアム能力開発協会

事業完了日:2020年3月31日

## 1.事業内容

### 第三の居場所の運営

(1)期間:2019年4月~2020年3月

(2)場所:宮崎県宮崎市

(3)内容:「第三の居場所」をつくり、そこで社会的相続を補完するため、拠点には専門スタッフを配置し、子ども達の生活習慣形成や非認知能力・学習意欲向上を図る。

## 2.事業内容詳細:

対象学校の児童生徒に放課後から夜21時までの間、安心して安全に過ごすことのできる居場所を提供し、宿題の補助や読み聞かせ、体験プログラムによって学習支援を行いながら、ニーズに応じて食事を提供し、歯磨き、入浴に関する生活習慣の形成をサポートした。また、学校や行政等各種関係団体とのケース会議に参加した他、保護者への相談援助業務を行うことによって子ども達が安心して過ごせる「第三の居場所」外における育成環境の醸成にも寄与した。

## 3.契約時事業目標の達成状況:

### 【助成契約書記載の目標】

- 1.拠点利用児童の募集
- 2.児童への居場所・読み聞かせ、学習支援・食事の提供
- 3.保護者、地域、行政との関係構築
- 4.全国展開に耐えうる事業モデルの構築

### 【目標の達成状況】

- 1.行政と協力して拠点利用児童の募集を行った。
  - 2.全開所日において実施した。食事の提供については児童と保護者の世帯ごとのニーズに応じた対応をとった。
  - 3.保護者との関係性:
    - ・お迎え時に、必ずその日の子どもの様子を報告する。その際に保護者へ悩み事はないか、心配事はないか聞き、信頼関係を気付いていくことを重要視した。
- 地域との関係性:
- ・去年に続き地域ケア会議に参加した。
  - ・建物の入り口にどんな施設なのか分かるように壁面制作を貼り、通行人や地域住民の方に知ってもらえるようにしている。

- ・拠点の活動に理解のある地域の方から肉を寄付してもらった。
- ・近隣の保育園から園内で育てたさつまいもを寄付してもらった。
- ・クリスマス会を実施した際、校医がみえて児童にプレゼントをいただいた。

行政との関係性：

- ・利用対象学年を3年生から6年生まで拡大し、その案内について拠点のチラシの裏に校長の文章付きで全世帯におたよりを配布してもらった。
  - ・小学校の児童クラブ利用者にチラシを配布した。
  - ・保健所からの紹介により2世帯2人の利用者が増えた。
  - ・児童クラブと併用している児童がいるため、児童クラブの先生と情報共有をしている。
- 4.地域や行政との繋がりを重視しつつ、社会的相続を補完するための知見を蓄積し、他拠点にも展開できる仕組みを採用した。たとえば、絵本の読み聞かせを実施することで絵本に興味を持ち、スタッフのみならず児童自らが本を手にとって読み聞かせをし合い、読書する姿が見られてきている。
5. その他 特になし。